

はじめに

八戸学院大学短期大学部は今年度介護福祉学科を開設し、幼児保育学科と併せて、専門職の養成機関としての体制を整えました。少子高齢化が急速に進む日本社会において、保育・幼児教育と介護はますます重要度を増しており、そこに携わる人材を育成するという責務を重く受け止めつつ、今後も教育の質の向上に努めていく所存です。

さて、今年度は本学の自己点検評価活動においても大きな変革がありました。本学は昨年度まで一般財団法人短期大学基準協会を評価機関として自己点検・評価報告書を作成し、平成21年と28年には同協会による第三者評価を受審して「適格」と認定されています。しかし、学内・法人内で検討を進めた結果、次回の認証評価を八戸学院大学と同じく公益財団法人日本高等教育評価機構（以下、JIHEE）によって受けること（八戸学院大学との同時受審）が決定されました。それを受けて、今年度は同評価機構の評価基準に基づいて自己点検評価書を作成しています。

新しい評価書はこれまでと基準項目が異なるだけでなく、記述の仕方やデータの示し方も異なるため、執筆者には大きな負担をかけることになったと思います。また、自己点検評価委員も多くの時間をかけて原稿の確認・修正に臨みました。結果的に完成が年を越してしまい、また、JIHEEによる評価システムの特徴である「特記事項」の記述に及ばなかったという反省点がありますが、ここに刊行することができたのはひとえに関係教職員の協力のたまものであり、改めて感謝申し上げます。

自己点検評価書の作成は現状の把握だけでなく、現状を改善する大きな契機となるものであり、また、そうでなくては作成する意義に乏しいと言えるでしょう。今年度の評価書作成から浮かび上がった課題のひとつが「学修成果の可視化」です。本文に記述したように、学修成果を把握するために本学ではさまざまな指標を活用していますが、それらを総合し、改善に活かす仕組みはまだ十分とは言えません。次年度は両学科ともに質の高い専門職者の育成に向けて、学修成果を把握し教育に反省させる仕組みの整備に取り組んでいきたいと思っております。

令和2年1月

八戸学院大学短期大学部学長 杉山幸子

目次

I. 建学の精神・短期大学の基本理念、使命・目的、短期大学の個性・特色等・・・	1
II. 沿革と現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
III. 評価機構が定める基準に基づく自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・	9
基準1 使命・目的等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
基準2 学生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
基準3 教育課程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	39
基準4 教員・職員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	53
基準5 経営・管理と財務・・・・・・・・・・・・・・・・	61
基準6 内部質保証・・・・・・・・・・・・・・・・	73
IV. 短期大学が独自に設定した基準による自己評価・・・・・・・・	79
基準A 地域貢献・・・・・・・・・・・・・・・・	79
V. エビデンス集一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	85
エビデンス集（データ編）一覧・・・・・・・・	85
エビデンス集（資料編）一覧・・・・・・・・	86